

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人安藤真一の上告趣意（後記）は、刑訴四〇五条に該当しない。また記録を精査しても、同四一一条を適用すべきものとは認められない。

よつて刑訴施行法三条の二、刑訴法四〇八条により主文のとおり判決する。

この判決は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二六年七月一〇日

最高裁判所第三小法廷

| | | |
|--------|-------|-------|
| 裁判長裁判官 | 長 谷 川 | 太 一 郎 |
|--------|-------|-------|

| | | |
|-----|-----|---|
| 裁判官 | 井 上 | 登 |
|-----|-----|---|

| | | |
|-----|---|---|
| 裁判官 | 島 | 保 |
|-----|---|---|

| | | |
|-----|-----|-----|
| 裁判官 | 河 村 | 又 介 |
|-----|-----|-----|